

第42回「議員と語りかい」報告書

2班 (No.1)

開催日	令和 5年 7月28日 14時00分 ~ 15時30分		
開催場所	横川総合支所 多目的室1・2		
団体名	個人参加（横川地区）	参加人員	26人 （男15人：女11人）
出席議員	今吉 直樹、野村 和人、塩井川 公子、松枝 正浩、鈴木 てるみ、川窪 幸治、仮屋 国治、下深迫 孝二		
役割分担	班 長（松枝 正浩）副班長（川窪 幸治）記録係（塩井川 公子）		
テーマ及び具 体的な内容	安心して暮らし続けられる地域づくり		

	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
意見 交換 での 主な 意見 等	<p>◆横川町と牧園町は、菱刈未来館ではなく、新たにゴミの中間処理施設を設置すると決まっていたが、議会で地元議員3名が反対票を投じていた。どういう理由があったのか、知りたい。</p> <p>◇今回設置される新たなゴミ中間処理施設の対象地域に溝辺町が入っていないという点について反対をした。当該施設は、溝辺の有川、三縄、竹子地区から車で10分～15分の場所にある。</p> <p>◇新たなゴミ中間処理施設は、溝辺に大変近い。横川や牧園だけではなく、溝辺の住民も一緒に使用できることが大事である。溝辺の方からも要望が出ていた。</p> <p>◇設置そのものを反対したわけではない。溝辺からの受入をお願いしたいという面から反対という形を取らせていただいた。</p> <p>◆もし反対が通ってしまったらゴミ中間処理施設は使えない状態になっていたのではないかと。修正動議とかそういうやり方は考えなかったのか。</p> <p>◇同審議は12月議会であり、年度内にまだ3月議会があるタイミングだった。3月議会であれば、修正案を提案することも考えたと思う。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での
主な意見等

◆佐々木地区施設の消防拠点施設の問題。佐々木地区の避難場所になっているが大雨河川増水時は消防車庫まで行くのが危険である。旧おきな湯の施設を市と所有者と交渉し借上げてもらえないか。

◇調査をしてみたい。改めて後日、委員会などで協議をしてみたい。

◆これから横川で、安心して暮らし続けていけるのだろうかと心配している。スーパーがなくなった。買い物ができるのが数カ所しかない。現在の物産館では、売り場面積が狭い。広げるのも難しい状況である。

◆ふれあいバスは利用者が少ないとデマンドに切替ることになるが、お年寄りには難しい手続きは無理ではないか。

◆農村RMOを農水省が推奨している。3年かけてやるがハードルが高い。市民が仕事をしながらこの制度に取り組むには負担が大きい。地域おこし協力隊の活用はできないか。横川全体でやっていく必要があるのではないかと考えている。

◇市執行部は、地域の受入体制を整えば「地域おこし協力隊」を活用することを検討する意向がある。農地を管理しながら、食材を加工して、販売していく農村ROMの組織ができれば、そこに協力隊を活用していく方法もある。地域おこし協力隊の要望は引き続き行っていく。

◆現在、横川に小学校は3つあるが、人数が少なくなっている。小学校統合問題検討委員会を立ち上げた。第1回小学校統合に関するアンケートをとった。市議の方々の意見を聞きたい。【資料提供】

◇行政としては、地域から声が上がれば統合を検討するという状態である。

◇私も中山間地域に住んでいて、近くには小さな小学校がいくつかある。市長の考えとしては、地域の人たちが望まない限りは統合せずに残すという考えである。地域の方が統合をして欲しいということであれば教育委員会も動いて、統合という形になってくると思う。一方、今の学校を潰さないでほしいという地域の声もある。

◇各地域拠点活性化のベースになる地域から声が上がってくれば、横川から市へと繋がる。地域の方々が統廃合してほしいとあれば教育委員会が動く。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

意見交換での主な意見等

◆横川町の保育園でアンケート取った、7割が統合に賛成。

◇地域の皆さんの話し合いの合意の上で学校、地域、PTAで望みが一致すればできる。

◆市営住宅1市6町空き家率23%、横川では40%である。水回り、トイレ、風呂場など各1市6町に1棟でもモデル的に現在のニーズにあったようにしてほしい。

◆今村住宅に住んでいる方からの要望であるが古い住宅を壊したあと草払いを行政が年に1回はやっているがすぐに生えてきている。対策を考えてほしい。

◇行政視察で京都へ行った。大学生が古い住宅に住んでグループホームをつくっている。空家対策として外国のかたに説明していけば行政にもメリットがあり提案したい。

◆就労者がいない。横川、牧園では専業農家が少なくなり、農業従事者がいなくなる。この霧島地区には温泉もあり魅力はある。ぜひ各国主催のシンポジウムなどを横川に引っぱってきてほしい。

◇狭い土地を活用し、協同労働という働き方で、小規模農業から利益を上げているところもある。

◇農業については経費がかかる部分がある。今後検討していく。

◆夜間、救急車を呼んだが希望した病院に行けなかった。

◇行く病院は予め3箇所ほど決まっている。詳しいことは調べて提言したい。

◆県道445号線のカーブや危険箇所の拡幅の要望

◆雨により、裏山が崩れることからの土砂撤去の費用負担（個人8割、行政2割）県の制度で、がけ下移転などもある。

◇市民の熱意を今後活かす。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆【時間の関係上、文書にて要望などを受理する。】

・河川工事発注のあり方と工期の問題【特に強く要望する】

県の河川災害において、復旧工事の発注が遅くなり、田植えが出来なかった。
河川復旧工事完了後、堤防決壊も発生している。県としっかり協議して欲しい。

・防災無線についての強化に対する要望

音声聞こえない箇所があり、調査を求める。

(家庭にあるコミュニティ無線との接続、サイレン箇所の設置を増やす)

・鳥獣害対策についての要望

個人に対する罾の免許取得に対する費用負担軽減や、電気柵設置の費用負担軽減、
捕獲物の一律の支給(捕獲時半減)

・大出水公園の駐車場について

夏場(7月・8月)は、公園利用者が多くなるため、立体駐車場(2階)を要望する。

・買物弱者対策について

横川、牧園、霧島地区への巡回移動販売車の導入をして欲しい。

意見交換での主な意見等